

鎌倉音楽文庫

KAMAKURA ONGAKU BUNKO

鎌倉と西洋の音楽・文化・アートが交差するトーク&コンサート

【第二章】北斎と波乗りドビュッシー

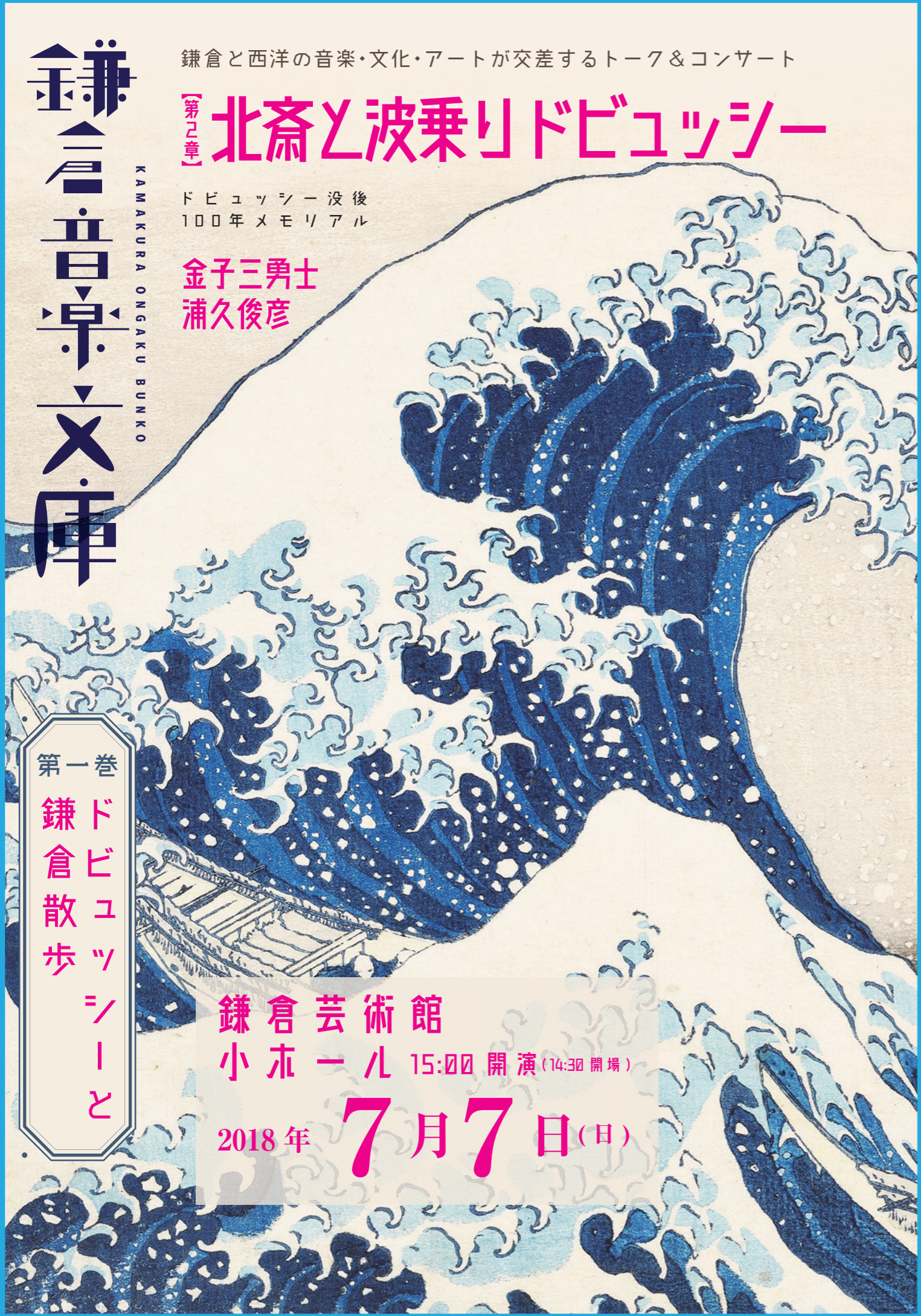
ドビュッシー没後
100年メモリアル

金子三勇士
浦久俊彦

第一巻
鎌倉ドビュッシーと

鎌倉芸術館
小ホール 15:00 開演 (14:30 開場)

2018年 7月7日(日)



鎌倉と西洋の音楽・文化・アートが交差するトーク&コンサート

ドビュッシー没後
100年メモリアル

【第一章】大正ニッポン フランス大狂想曲

青柳いづみこ
小林美恵
浦久俊彦

鎌倉芸術館
小ホール 15:00 開演 (14:30 開場)

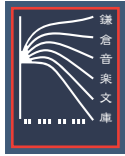
2018年 4月22日(日)

鎌倉音楽文庫

KAMAKURA ONGAKU BUNKO

第一巻
鎌倉ドビュッシーと





鎌倉音楽文庫とは

あまたの文化人たちに愛され、数々の作品の舞台ともな... 鎌倉音楽文庫とは、鎌倉に息づく文化、ゆかりの文豪たちが耳にした音楽、作品に登場する...

第一巻

ドビュッシー 没 100 年メモリアル

「ドビュッシーと鎌倉散歩」

2018年、没後100年を迎えるドビュッシーは、近代フランスの風を日本に吹かせました。彼は、北斎などヨーロッパで大流行したジャポニスムに強く影響されたことともよく知られています。

【2018年 = 没後 100年】

フランスの作曲家。1884年パリ音楽院卒業後、ローマを2年間留学生活を送るも、孤独との闘いの末、帰国。その後、パリ万博と東洋の諸芸術に出会ったほか、マラルメなど象徴主義の詩人や作家、その周辺の画家たちとの交流を通じて独自の音楽語法を構築...



Claude Debussy (1862-1918) クロード・ドビュッシー

4月22日

- 日本人の心に近い音楽「ドビュッシーと日本の出会い」
● 大正デモクラシーとフランス・ブーム
● 鎌倉文化人たちとドビュッシー
● 鎌倉に薫るフランス「旧華頂宮邸庭園」
● 憧れのフランス、おしゃれなパリの、はいつ日本人のココロに芽生えたのか？

< 日本から見たフランス >

ときは、大正時代のニッポン。フランス大ブームに沸き立つ街に、ドビュッシーはどのように響いたのでしょうか？出演は、文筆家・ピアニストとして、ドビュッシー研究の第一人者としても知られる「青柳いづみこ」と、フランスが誇るロン・ティボー国際音楽コンクールに日本人として初めてグランプリを獲得したヴァイオリニスト「小林美恵」...

プログラム

ドビュッシー：《二つのアラベスク》

- 《夢》
《前奏曲集 第1集》より
《亜麻色の髪の乙女》、《ミンストレル》
《ヴァイオリン・ソナタ》 ほか



©Hideo Goto

青柳いづみこ (ピアノ) AOYANAGI IZUMIKO

ピアニスト・文筆家。安川加壽子、ピエール・バルビゼの各氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業。東京藝術大学大学院博士課程修了。平成2年度文化庁芸術祭賞受賞。演奏と文筆の双方で高い評価を受け、安川加壽子の評伝『翼のはえた指』で吉田秀和賞、祖父の評伝『青柳瑞穂の生涯』で日本エッセイストクラブ賞、『6本指のゴルトベルク』で講談社エッセイ賞、CD『ロマンティック・ドビュッシー』でミュージックペンクラブ音楽賞受賞...



©Akira Muto

小林美恵 (ヴァイオリン) KOBAYASHI MIE

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1983年第52回日本音楽コンクール第2位。1984年海外派遣コンクール河合賞受賞。1988年シュボア国際ヴァイオリン・コンクール第2位、あわせてソナタ賞を受賞。1990年ロン・ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で日本を代表するヴァイオリニストとして活躍。CDは、『プレイズ・クラウザー』、『ヴァイオリン名曲集』など多数。2010年、紀尾井ホールにてデビュー20周年記念リサイタルを好演。11月には、ロン・ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。2012年、日本キリスト教団交響楽60周年記念演奏会に出演。2015年にはデビュー25周年を迎え、2015-2016年の2年間で5回の記念リサイタルのほか、全国各地で公演。現在、昭和音楽大学客員教授。

【第二章】 北斎と波乗りドビュッシー ~ジャポニスム旋風の衝撃！

< フランスから見た日本 >

ときは、19世紀後半。西洋を襲った大激震のニュー・ウェーブノそれが“ジャポニスム”でした。それまでの伝統的な線と明暗と空間表現から、色彩とタッチと平面を重視した、装飾性を帯びた表現に変貌しようとしていた時代の最先端アーティストたちに、日本美術が与えた真の衝撃とは？出演は、いまでも熱い、若手を代表するピアニスト「金子三勇士」...

プログラム

ドビュッシー：《ヘルガマスク組曲》より

- 《月の光》、《子どもの唄分》
バルトーク：《子どものために》より
コダーイ：《7つのピアノ作品》op.11より 《雨の街》
武満徹：《雨の樹素描 —オリヴィエ・メシアンへの追憶に》 ほか

金子三勇士 (ピアノ) KANEKO MIYUJI

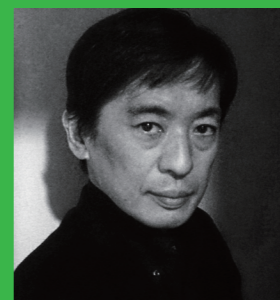
1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳で単身ハンガリーに渡りバルトーク音楽小学校に入学。2001年、11歳でハンガリー国立リスト音楽院大学（特別才能育成コース）に入学し、2006年に全課程取得とともに帰国。東京音楽大学付属高等学校に編入し、清水和音、迫昭嘉、三浦捷子に師事。2008年、バルトーク国際ピアノコンクール優勝の他、数々の国際コンクールで優勝。これまでに、ソルタン・コナシュ指揮／ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、準・メルクル指揮／読売日本交響楽団、ジュンサン・ノット指揮／東京交響楽団等と共演。海外ではハンガリー、アメリカ、フランス、ドイツ、オーストリア、スイス他各国で演奏活動を行なう。東京音楽大学を首席で卒業、同大学院修了。



©Ayako Yamamoto

浦久俊彦 (ナビゲーター) URAHISA TOSHIHIKO 2公演出演

文筆家、文化芸術プロデューサー。パリで音楽学、歴史社会学、哲学を学ぶ。フランスを拠点に20年以上にわたり、音楽・芸術分野だけでなく、MOF（フランス最優秀職人）の支援など、幅広く総合文化プロデューサーとしても活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。多彩な分野のアーティストのオリジナル企画を手がけるほか、一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、公益財団法人日仏会館文化事業委員、サラマンカホール音楽監督として、2015-2016年の2年間で5回の記念リサイタルのほか、全国各地で公演。現在、昭和音楽大学客員教授。

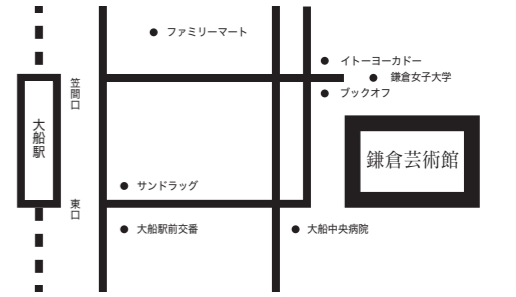


7月7日

- 世紀末フランスは、空前の日本ブームだった！
● フランスでドビュッシーを最初に聴いた日本人は？
● いとしのエリーとドビュッシー ~恋愛遍歴にみるドビュッシーの愛憎劇！
● 北斎とドビュッシーと湘南の海
● デビュッシイアとドビュシイア ~ドビュッシーは日本で何と呼ばれていた？

鎌倉芸術館 KAMAKURA PERFORMING ARTS CENTER

〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船6-1-2 TEL:0467-48-5500 FAX:0467-48-5600



主催：鎌倉市芸術館指定管理者 サントリーパブリシティサービスグループ

チケット発売日

かまくらアーツ・クラブ会員先行 1月27日(土)
ネット会員先行 2月2日(金)
一般 2月3日(土)

※発売初日の窓口での販売はいたしません。(電話、インターネットのみ販売)

チケット料金

全席指定 3,600円
2公演セット券 7,200円
7,000円

- ※かまくらアーツ・クラブ会員10%割引対象。
※セット券は、鎌倉芸術館のみ取り扱い。
※学生席(小学生~24歳以下)は半額。鎌倉芸術館のみ取り扱い。当日、身分証要提示。
※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※都合により、内容が変更になる場合がございます。

お申込み 鎌倉芸術館チケットセンター (10:00~19:00)

0120-1192-40

鎌倉芸術館1Fインフォメーション(9:00~19:00)
鎌倉芸術館ホームページ http://www.kamakura-arts.jp/
チケットぴあ 0570-02-9999 Pコード: [4/22] 102336 / [7/7] 102341
http://pia.jp/t
ローソンチケット 0570-000-407 Lコード [2公演共通]: 33102
イープラス http://eplus.jp